



ごみ半減をめざす「しまつのこころ条例」

施行から1年、皆様のお取組に感謝。更なるごみ減量を!!

～京都市内唯一の埋立処分地を1日でも長く使用するためにも～



- 市民の皆様・事業者の皆様の御協力・御努力により、京都市のごみ量は、ピーク時の年間82万トンから46%減の44万トンに。ご家庭からのごみ量も、大都市の中で最も少なくなりました。(他の政令市平均の $\frac{3}{4}$ である417g^{*})(*は、27年度実績)
- また、5工場あったクリーンセンターを3工場まで縮小するなど、環境負荷の低減と年間138億円ものごみ処理経費の削減を実現。
ありがとうございます。
- しかし、ごみ減量の目標(平成32年度までに39万トン)の達成には、あと5万トンもの減量が必要。
- 写真は、22年の歳月と整備費約523億円をかけ、平成12年4月に利用を始めた京都市で唯一の最終処分場の「東部山間埋立処分地(エコランド音羽の杜)」。
ごみ減量の目標を達成しても、使用できるのはあと約50年。
- 今後、新たな処分地を確保することは極めて困難です。市民の皆様の貴重な財産である東部山間埋立処分地をより長く使用するために、より一層の御協力をお願いします。